

2019年度の年間の活動

1. イベントの取組

1) 江津本町町歩きイベント「ふらり」

- ・3月19日 実行委員会開催
- ・4月24日 実行委員会開催
- ・6月5日 「ふらり」会場など準備
- ・6月9日 「ふらり」開催。
テーマは「江津本町の歴史と未来をつなぐ」(資料1)
- ・6月19日 「ふらり」反省会

2) 旧江津郵便局を活用した写真展

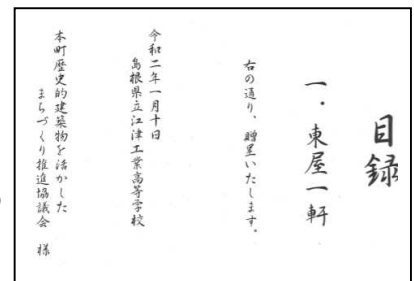
- ・9月21日～24日 江津工業高校 藤原裕也先生写真展
- ・10月下旬 県西部の写真愛好家グループによる写真展
* 写真をはじめとした表現の場をつくり、古い町並みににぎわいを生み出したい
- ・11月3日～4日 表現する喜び(書や絵のある暮らし展)



2. 工業高校生との取組

1) 東屋制作と引き渡し

- ・高校実習日 東屋の制作、旧ときわ印刷の改修
- ・1月10日 江津工業高校制作東屋引渡式
- * 市民やまち歩きをする観光客らにくつろいでもらうために工業高校に依頼。住宅街にある空き地の一角に、間口3m、高さ2.5mの木造で、向かい合わせに3人ずつ座れるベンチ付きの小屋を造ってもらった。屋根はまちなみに合わせて赤瓦をふいている。



3. 町ガイドの取組

- ・7月2日 江津市立渡津小学校3年生 本町探検(スタンプラリー)案内
- ・7月25日 中国地方都市美協議会都市景観研修会の参加メンバーを案内
- ・8月9日 イワミノチカライントーン生を案内
- ・9月8日 石見地区の高校生80名が絵画コンクール用の本町風景画を制作
- ・9月19日 江津市立江津中学校1年生85名が「ふるさと探訪」実施。本町を案内
- ・10月18日 シマネスクくにびき学園社会文化科2年授業(11名)
- ・11月4日 いわみん本町探訪会まちなみ案内4名
- ・11月9日 いわみん本町探訪会まちなみ案内10名

4. その他

- ・6月15日 令和元年度まちづくり総会 事業報告など
- ・6月15日 勉強会
(講師：江津工業高校藤原裕太先生と生徒) (写真1)
- ・7月24日 令和元年度中国地方都市美協議会都市景観研修会に参加
(事例紹介：石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり)
- ・9月11日～12日 津和野・萩研修旅行
- ・12月25日 江津市商工観光課へ「外国人留学生受入にかかる要望」の要望書提出
- ・1月中旬 県政広報誌「フォトしまね輝々しまね」にて取組が紹介される
- ・2月20日 令和元年度「夢街道ルネッサンス」意見交換会で活動報告



受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 空き家空き店舗の調査

1) 旧ときわ印刷の改修

活動可能な空き店舗・空き家の借用と利活用の調整に取り組みました。2018年度から地元の江津工業高校生やポリテクカレッジ生と一緒に改修を進めてきました。今年も旧印刷所の改修が進み、イベント時の活用や両校の実習の場となっています。

2) 東屋を制作

江津工業高校生の実習で「東屋」を制作し、まちづくり協議会へ寄贈いただきました。

3) ゲストハウス「山辺荘」を開設 ※「山辺荘」：元旧江津町役場の別館

江津工業高校生らと、空き家を利用した簡易宿泊所を目指して、必要な調査や手続き、改修をすすめて、開設することができました。国内外からの集客を目的に、OTAを活用し、「じゃらん」、「Airbnb」を利用。(運営：地域おこし団体「イワミノチカラ」)

4) 歴史や史実の掘り起こし

歴史的につながりの深い「津和野・萩」へ研修旅行を実施して、史実の検証と情報交換をしました。それをもとに、江戸末期から明治維新時に長州藩士が江津陣屋に対陣したときの「絵図」を再現して案内板を作りました。

5) 若者の協力

本町住民との交流、本町イベントへの企画、参加

調査検討費の使途

- ・ 空き店舗の借用費
- ・ 空き店舗調査修繕費
- ・ イベント「ふらり」経費
- ・ 総会講師料（江津工業高校先生）
- ・ 津和野・萩訪問旅費
- ・ 活動旅費
- ・ 広報活動（案内板作成）
- ・ 雑費

近い将来取り組まなければならない課題

1. 使える空き家を増やす

現在モデル的な取組であるので、居住や民泊として活用ができる空き店舗・空き家を調査して増やすことを目指す。

2. 増える高齢者世帯への対応

江津本町に一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えてきた。そういった方々への聞き取りをしながら、安心・安全な居住空間を目指して行く活動につなげる。

3. 江津工業高校生との継続的な関わり

江津工業生との関わりを継続できる仕組みを作る。

4. 歴史・史実のさらなる調査

未開発の歴史や史実がまだまだたくさんあるので、それらを調査していく。とくに浜田市・益田市・津和野町・萩市などとの関係が深いので、それぞれの地域と交流をしながら調査や情報交換に努めたい。

また、江津市文化財担当者の調査では、本町地区が中世の城郭の街並みを形成しているという報告をしている。今後はそういった調査をすすめて、より一層の魅力アップへ努めたい。